

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年5月30日
【事業年度】	第66期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】	フリージア・マクロス株式会社
【英訳名】	FREESIA MACROSS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 奥山 一寸法師
【本店の所在の場所】	東京都千代田区外神田六丁目8番3号
【電話番号】	03-5818-1522（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 篠崎 温儀
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区外神田六丁目8番3号
【電話番号】	03-5818-1522（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 篠崎 温儀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月29日に提出した第66期（自平成20年4月1日 至平成21年3月31日）有価証券報告書の訂正報告書を平成24年5月17日に提出しましたが、その記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

（2）キャッシュ・フロー

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

（2）キャッシュ・フロー

（訂正前）

- 前略 -

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当連結会計年度において営業活動によるキャッシュ・フローは517百万円となり、前連結会計年度比471百万円増加しました。税金等調整前当期純損失が44百万円と前連結会計年度比605百万円の減少となりましたが、売上債権、棚卸資産等が大幅に寄与し、法人税等の支払の増加等のマイナス要因をカバーした結果によるものです。

- 後略 -

（訂正後）

- 前略 -

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当連結会計年度において営業活動によるキャッシュ・フローは517百万円となり、前連結会計年度比554百万円増加しました。税金等調整前当期純損失が44百万円と前連結会計年度比605百万円の減少となりましたが、売上債権、棚卸資産等が大幅に寄与し、法人税等の支払の増加等のマイナス要因をカバーした結果によるものです。

- 後略 -